

登録No. 32

ふりがな	おがわ ひでゆき	
氏名	小川 英幸	
企業名 (所属)	合同会社長目	
URL	http://www.chomoku.info	

①専門分類

1. 情報システム

2. その他*

3. 経営戦略・マーケティング

4. 財務・税務

その他場合 データ分析、人工知能

②主な職歴

2000～2017 中堅証券会社

トレーダーやアナリストとして業務に従事。主としてプログラムを使って分析し投資判断などを行う。

2017～ 合同会社 長目 設立

独立して、ITなどのコンサルティングやソフトウェア開発を事業とする会社を起業。受託データ分析、企業のITコンサルティング、人材育成などのサービス提供を主軸とする。昨年は浜松市の実証実験サポート事業（第4期）に採択された。

③専門分野

私の専門分野は主にIT、データ分析、人工知能の活用にあります。ファイナンス、デジタルマーケティング、経営戦略にも深い知見を持ち、特にデータ分析とプログラミングは評価されている。

私の著書「Pythonデータ分析ハンズオンセミナー」（日経BP、2023年8月）と「Pythonインタラクティブ・データビジュアライゼーション」（朝倉書店、2020年12月）は、実践的な分析手法を提供している。

④資格等

日本証券アナリスト協会認定アナリスト

経済・金融などの観点で、経済動向を考慮した企業戦略の策定や、ビッグデータを活用した分析を用いた事業展開の検討が行える。

Google Cloud Digital Leader

グーグルの資格により、DXにより企業が目指すべき姿を学び、企業の生産性の向上とITの観点で御社にとって無理のない支援ができる。

⑤自己アピール

現在の企業に必要なものは、自社の得意とする分野の知識は言わずもがなですが、どの企業も必要なのがITの知識です。一方で、日本企業はITの活用が苦手です。

私も最初はITが苦手でした。しかし、仕事で必要だと感じ、プログラミングなどの独学を始めると、意外に利用が容易だと感じました。大事なことは、時間を作り、楽しく学ぶことです。IT活用をはじめると、徐々に作業が効率化され時間に余裕も生まれます。

私の場合、気付けば起業しIT関連書籍の執筆や企業支援などをしております。企業の場合、ITに取り組むことにより、より収益があげられる企業へと再デザインできます。

足元、ビジネスを革新する新たなツールとして生成AIも誕生しています。ソフトバンクの孫氏は「活用するのか、取り残される金魚になりたいのか」と問いかけています。そのような重要な局面で、京都の企業を強くするお手伝いができればと思います。